

認知症ガイドブック構成とテキスト作成分担(案)

全体のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症への対応の入口の部分で道しるべとなるような冊子にする ・ ページを絞りイラストや事例を盛り込み興味が湧くような内容にする ・ 状態に応じたサービスの全体像がわかり安心感につながる内容にする
---------	---

頁	テーマ	項目	伝えたいメッセージ(ねらい)	記載内容	担当委員	
	表紙		タイトルとイラスト	安心感を与えるやさらかさ、優しさ、	みんなで支えているイメージイラスト	事務局
1	見開き	導入 認知症の基礎知識	認知症とは	行動・言動の背景を知ることでお互い安心	ありがちな症状における本人と支援者の気持ち その理由を知ることによって双方安心できる対応が生まれる コラム的に認知症の原因疾患の紹介と若年性認知症に触れる	介護職・家族会 民生委員と事務局 で案作成 医師(確認)
2						
3	見開き	認知症予防 早期対応について	認知症予防は、特別なことではなく普段の生活から 早期対応の必要性	生活習慣病の予防、日常生活のこころがけ 早期からの適切なケアで症状軽減・進行抑制 コラム的に治療によって治る認知症の紹介	事務局作成 医師(確認)	
4						
5	見開き	医療機関のかかり方	医療機関の役割	まずは、かかりつけ医から 相談機関の利用も一つのルート	医療機関のかかり方のチャート図 各医療機関の役割・認知症の在宅医療	事務局作成 医師・薬剤師(確認)
6						
7	見開き	制度・サービスの紹介	介護保険制度 介護保険サービス	介護保険サービスの仕組みと内容 認知症の人に果たす役割をわかりやすく	仕組み図 サービスの概要	事務局と介護保険課 介護職委員
8						
9	見開き		区の事業やサービス	認知症の人を支える地域づくり	サポーター養成等理解普及講座、見守り事業等	事務局
10				インフォーマルサービス	身近にある支援の存在を知ることによって安心感を	家族会・ケアカフェ等
11	見開き	ケアパス (状態に応じた 支援の流れ)	練馬区版認知症ケアパス	状態に応じて利用できるサービスがある	ケアパス社会資源シートを見やすい形で掲載	事務局
12				生活事例	状態に合わせて支援を組み合わせることで 在宅での暮らしが続けられるイメージが持てる	①軽度 ②中・重度 ③独居 ④若年性認知症
13	見開き	認知症への気付き 相談先	認知症チェックリスト	気になったら、まずは、チェック	東京都認知症チェックシートを掲載	事務局 医師(確認)
14				相談先	目につくところに相談先	窓口一覧